

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	社会学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ(学部)― コースワークとリサーチワークのバランス(院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供(学部)― 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供(院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供(専院) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容(学部)―

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 体系化されたカリキュラムに対応した専門領域担当者の配置と履修指導の徹底	→学生の履修状況(偏在の有無)、不開講科目数、履修指導の有無、カリキュラムマップの作成	B
2. ソシオリテラシー涵養のコースワークプログラムの確立	→コースワークプログラムの整備の周知・公表の有無	A
3. 英語クラスにおける能力別クラスの設置	→英語の能力別クラスの実施・履修の有無	A

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

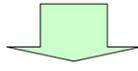
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆	小項目6.2.1	(方針) 1. 高度な専門知識教育の前提となる基礎的な学問知識を体系的に教えるカリキュラムの構築、2. 専門分化された知識体系を有機的に相互関連させる教育カリキュラムの構築、3. 現実社会の問題・課題に対して貢献しうる専門知識を教育するカリキュラムの構築、4. 国際的な発信能力を養成する教育カリキュラムの構築。 (現状説明) ソシオリテラシーの涵養を目指した以下のような教育課程を編成している。前期課程では、科目修得を通して特定の領域・方法に偏ることなく社会的発想の基礎を幅広く習得する。後期課程では、多様な専門領域を相互に関連づける知識を習得しつつ博士学位取得の目標を明確にし、主体的に研究を立案、遂行、発表する能力を習得する。
☆	小項目6.2.2	(現状説明) ソシオリテラシー涵養のコースワークプログラムとして、「先端社会講義A/B」「先端社会研究A/B」に分け、前者を前期課程、後者を後期課程の科目として開講している。なお、Aはソシオリテラシー涵養のベーシック科目として、Bはアドバンスト科目として順次性を持たせている。
☆	その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	時間割の調整を行い、「先端社会講義A」については、ほぼ全ての前期課程の学生が履修した。
その他	



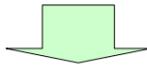
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.2.1	
★小項目6.2.2	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○おおむね順調に改善が進んでいるようです。英語能力別クラス制の成果や問題点についてもデータを蓄積して今後の改善に備えることが望まれます。

【学内委員】

○現状説明などの記述はおおむね明確です。

○教育課程が体系的に編成されており、また適切な教育内容が提供されている点は大いに評価できます。特に、ソシオリテラシー涵養コースのプログラム確立と実施は優れています。英語クラスにおける状況は、現状説明事項が未記載のため、追加説明する必要があります。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★	6.2.2 ソシオリテラシー涵養のコースワークプログラムとして、「先端社会講義A/B」「先端社会研究A/B」に分け、前者を前期課程、後者を後期課程の科目として開講している。なお、Aはソシオリテラシー涵養のベーシック科目として、Bはアドバンスト科目として順次性を持たせている。さらに英語クラスについては英語未修の外国人留学生の英語能力の状況を鑑み、習熟度に合わせたクラス設置を行っている。
---	---

V. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.2.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.2.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.2.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.2.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの開設授業科目数

<個別的な指標>
